

令和 7 年度

県営土地改良事業変更計画概要書

(農業用用排水施設整備)

I 計画変更内容

II 計画変更を必要とする理由

III 変更後の土地改良事業計画の概要

【両筑第 7 地区】
小郡市
朝倉市
朝倉郡筑前町
三井郡大刀洗町

I 計画変更内容

県営両筑第7地区土地改良事業変更計画概要 (農業用用排水施設整備)

項目	変更前			変更内容	変更後			
地区面積	295.3 ha			地区編入面積	0.0 ha			
				地区除外面積	9.6 ha			
				9.6ha減	合計	285.7 ha		
主要工事 計画	工種	事業量	単位	150.0m増	工種	事業量	単位	
	農業用用排水施設	2,291	m		農業用用排水施設	2,441	m	
工事着手 及び 完了年度	自 令和3年度			2ヶ年延長	自 令和3年度			
	至 令和8年度				至 令和10年度			
	6ヶ年				8ヶ年			
事業費 (事務費 含む)	501,000 千円			357,676千円増	858,676 千円			

II 計画変更を必要とする理由

1. 地区面積の変更

地区編入：なし
地区除外：転用による除外

2. 主要工事計画の変更

路線変更に伴う水路延長の増。

3. 事業費の変更

既設管位置、沿線状況から路線変更となり、既設管撤去のための新たな開削工事が必要となったことによる増。また、それに伴い用地調査及び修正設計が必要となったことによる増。

上記の理由により、事業費を増額するものである。

なお、事業費増減の内訳及び事業費変動率は次のとおり。

- ・事業量変更 △74,292 千円
- ・工法変更 231,711 千円
- ・自然増減 180,268 千円
- ・入札等の増減
- ・その他（事務費） 19,989 千円

III 変更後の土地改良事業計画の概要

第1章 目的

地区内の用水施設（幹線水路 86 km、頭首工 5ヶ所、揚水ポンプ 179 台）は、老朽化による水路の不等沈下や破損による漏水が発生しており、用水の供給に支障をきたし、補修対策費用が増加しているため、早急に施設の保全対策を行い、用水の安定供給と維持管理費の節減を図る必要がある。

第2章 地域の所在地及び現況

(1) 地域の所在

福岡県小郡市・朝倉市・朝倉郡筑前町・三井郡大刀洗町

(2) 地積

(単位 : ha)

市町村名	田	畠	原野	山林	その他	計
小郡市	324	112				436
朝倉市	1,295	119				1,414
朝倉郡筑前町	1,078	91				1,169
三井郡大刀洗町	325	89				414
計	3,022	411				3,433

(3) 対象となる施設の状況及び機能保全対策工事の必要性

項目	施設名 又は 箇所数	受診面積	構造 及び 規格	新設 又は 更新 年月日	機能保全対策工事の必要性
1.ダム	—	—			
	下瀬頭首工		洪水吐 27.0m×1.25m×2連 魚道 2.0m×1ヶ所 上砂吐 5.0m×1.53×1連	S53	
	木郷頭首工		洪水吐 20.0m×1.7m×2連 魚道 2.0m×1ヶ所 土砂吐 10.0m×1.7×1連	S48	
2.頭首工	上屋敷頭首工	(3,433)	洪水吐 21.5m×1.30m×2連 魚道 2.0m×1ヶ所 上砂吐 3.0m×1連	S48	
	小川頭首工		洪水吐 19.0m×1.7m×2連 魚道 2.0m×1ヶ所	S49	
	乙原頭首工		洪水吐 22.5m×1.8m×1連	S44	
3.揚水機場	名称 合計		全用水槽 用水槽 I回地 36 II回地 19 III回地 47 IV回地 22 V回地 19 L回地 16 R回地 20 計 179	0.834 0.009~0.101 0.430 0.006~0.080 0.696 0.004~0.053 0.358 0.003~0.053 0.402 0.006~0.064 0.319 0.006~0.054 0.328 0.006~0.027 3.367	
	施設名		延長 横断		
	寺内幹渠第1号水路		3,486 コンクリートパイプ Φ900mm~Φ600mm	S59	
	寺内幹渠第2号水路		4,135 コンクリートパイプ Φ600mm~Φ500mm 石綿管 Φ450mm~Φ350mm	S55	
	寺内幹渠第3号水路		2,583 石綿管 Φ500mm~Φ300mm	S55	
	寺内幹渠第4号水路		4,940 石綿管 Φ450mm~Φ350mm	S60	
	福田幹渠第1号水路		4,173 コンクリート水管 Φ300mm~Φ500mm 石綿管 Φ400mm~Φ350mm	S68	
	福田幹渠第3号水路		1,676 石綿管 Φ450mm~Φ400mm	S67	
4.蓄水池	夜須幹渠第1号水路	3,433	1,698 コンクリートパイプ Φ700mm~Φ600mm 石綿管 Φ450mm	S45	
	夜須幹渠第2号水路		2,539 コンクリートパイプ Φ800mm~Φ600mm 石綿管 Φ200mm	S46	
	夜須幹渠第3号水路		3,330 コンクリートパイプ Φ800mm~Φ500mm 石綿管 Φ400mm~Φ350mm	S48	
	夜須幹渠第4号水路		817 石綿管 Φ250mm~Φ200mm	S46	
	夜須幹渠第5号水路		253 石綿管 Φ300mm	S46	
	夜須幹渠第6号水路		849 石綿管 Φ450mm~Φ350mm	S49	
	夜須幹渠第7号水路		1,607 コンクリートパイプ Φ500mm~Φ350mm 雨水路 1.0×0.6~2.0×1.0	S46	
	夜須幹渠第8号水路		1,306 コンクリートパイプ Φ600mm~Φ450mm 雨水路 0.7×0.6	S48	

施設の老朽化に起因する機能低下のため用水確保が困難となっているため。

項目 施設名	設置面積	延長	構造	耐震 又は 更新 年月日	機械化対策工事の必要性
立石幹線第1号水路	3,433	1,811	コンクリートパイプ φ700mm～φ600mm 石縫管 φ400mm～φ300mm	S45	
立石幹線第2号水路		719	陶水路 0.6×0.5	S47	
立石幹線第3号水路		3,090	コンクリートパイプ φ900mm～φ500mm 石縫管 φ400mm～φ350mm	S49	
立石幹線第4号水路		1,832	コンクリートパイプ φ600mm～φ400mm 石縫管 φ400mm～φ350mm	S47	
立石幹線第5号水路		2,096	コンクリートパイプ φ600mm～φ500mm 石縫管 φ400mm～φ350mm	S47	
立石幹線第6号水路		6,227	コンクリートパイプ φ800mm～φ600mm 石縫管 φ300mm～φ300mm	S50	
立石幹線第7号水路		3,319	コンクリートパイプ φ700mm～φ500mm 石縫管 φ400mm～φ300mm	S52	
立石幹線第8号水路		852	石縫管 φ400mm～φ250mm	S52	
立石幹線第9号水路		1,648	石縫管 φ400mm～φ250mm	S50	
立石幹線第10号水路		1,102	埴込管φ300mm	S56	
二輪幹線第1号水路		6,563	波サイエン φ800mm～φ700mm 陶水路 1.0×0.7～1.0×0.9 音渠 1.0×0.7～1.0×0.8	S46 S47 S48 S50 S55	施設の老朽化に伴因する機械施工のため、川水端が困難となっているため。
二輪幹線第2号水路		2,570	陶水路 1.0×0.7～1.3×0.8 暗渠 1.0×0.7～1.0×1.1	S44	
甘木橋幹線第1号水路		1,960	陶水路 1.4×1.0～1.0×0.8	S49	
甘木橋幹線第2号水路		1,701	陶水路 1.3×0.8～1.0×0.7 暗渠 1.0×0.7～1.0×1.1 波サイエン φ700mm～φ600mm	S47	
甘木橋幹線第3号水路		1,491	コンクリートパイプ φ700mm～φ500mm	S47	
甘木橋幹線第5号水路		2,310	陶水路 0.8×0.7	S46	
甘木橋幹線第6号水路		2,180	陶水路 1.0×0.5～0.8×0.7 コンクリートパイプ φ700mm～φ150mm	S46	
下渕幹線第1号水路		3,519	コンクリートパイプ φ1,000mm～φ500mm	S53	
西部幹線第1号水路		2,100	サイゴン φ1,000mm コンクリートパイプ φ700mm～φ500mm	S56	
上原幹線第1号水路		2,149	陶水路 1.0×0.65～0.8×0.6	S50	
本郷幹線第1号水路		525	陶水路 1.0×0.8～1.0×0.7 暗渠 1.0×0.8	S46	
木野幹線第2号水路		1,694	コンクリートパイプ φ800mm～φ600mm 陶水路 1.5×0.75～0.8×0.65 暗渠 2.0×1.0～1.3×1.0	S46	
小田幹線第1号水路		675	コンクリートパイプ φ700mm	S50	
小田幹線第2号水路		799	陶水路 1.2×0.9～1.0×0.8	S54	
計		3,433			
3.その他 かんがい 施設	—	—			

第3章 施設整備計画

(1) 計画の要旨

立石1号水路は、管径がΦ900mm未満であり、補修工法が採用できない。このため、管路設置位置の条件により改築が可能な区間においては、経済比較に基づき改築工法（FRPM,DCIP等）とするが、宅地等に隣接し、開削が困難な区間においては管更生工法（反転工法等）も採用する。上屋敷1号水路は、改築が可能な区間においては、経済比較に基づき改築工法（二次製品三面水路、RCボックスカルバート等）を採用する。宅地等に隣接し、開削が困難な区間においては路線変更を検討する。

(2) 土地利用の現況及び計画

(単位：ha)

地目		田	畠	樹園地	原野	山林	その他	計
面積	現況	219.7	66.0					285.7
	計画	219.7	66.0					285.7

(3) 主要工事計画

路線名	構造及び規格	数量	備考
上屋敷1号水路	水路補修工事 (1200×800～1000×700)	L=1,478m	
立石1号水路	水路補修工事 (Φ700)	L= 963m	
計		L=2,441m	

(4) 工期

令和3年度～令和10年度（予定）

(5) 環境への配慮

土砂や濁水の発生を極力防止し、発生した場合でも直接下流へ流さないなど充分注意して施工を行う。

第4章 費用の概算

(1) 事業費の概算

事業費	806,000 千円
事務的経費	52,676 千円
計	858,676 千円

(2) 負担割合

(単位 : %)

費用・区分	国	県	市町村	受益者
事業費	50	25	22.5	2.5
事務的経費	0	100	0	0

第5章 効用

(1) 年総効果額

項目 区 分	年総効果額 (千円)	年増加所得額 (千円)
食料の安定供給の確保に関する効果	216,248	421
作物生産効果	212,171	
品質向上効果	11,090	
営農経費節減効果	△6,725	
維持管理費節減効果	△288	421
農業の継続的発展に関する効果	3,044	
災害防止効果 (農業関係資産)	3,044	
農村の振興に関する効果	11,264	
災害防止効果 (一般資産)	11,264	
多面的機能の發揮に関する効果	8,358	
災害防止効果 (公共資産)	8,358	
その他の効果	17,602	
国産農産物安定供給効果	17,602	
計	256,516	421

(2) 投資効率

項目 区 分	算 式	数 値
総事業費	③=①+②	4,372,937 千円
当該事業による費用	①	806,837 千円
その他費用（関連事業費+資産価額+再整備費）	②	3,566,100 千円
年償還額	④	1,562 千円/年
うち機能向上分	④'	— 千円/年
年総効果（便益）額	⑤	256,516 千円/年
現況年総農業所得額	⑥	254,307 千円/年
年総増加農業所得額	⑦	421 千円/年
評価期間（当該事業の工事期間+40年）		48 年
割引率		0.04
総便益額（現在価値化）	⑧	6,611,347 千円
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	1.51
総所得償還率	⑩=④÷⑥	0.6 %
増加所得償還率	⑪=④'÷⑦	— %

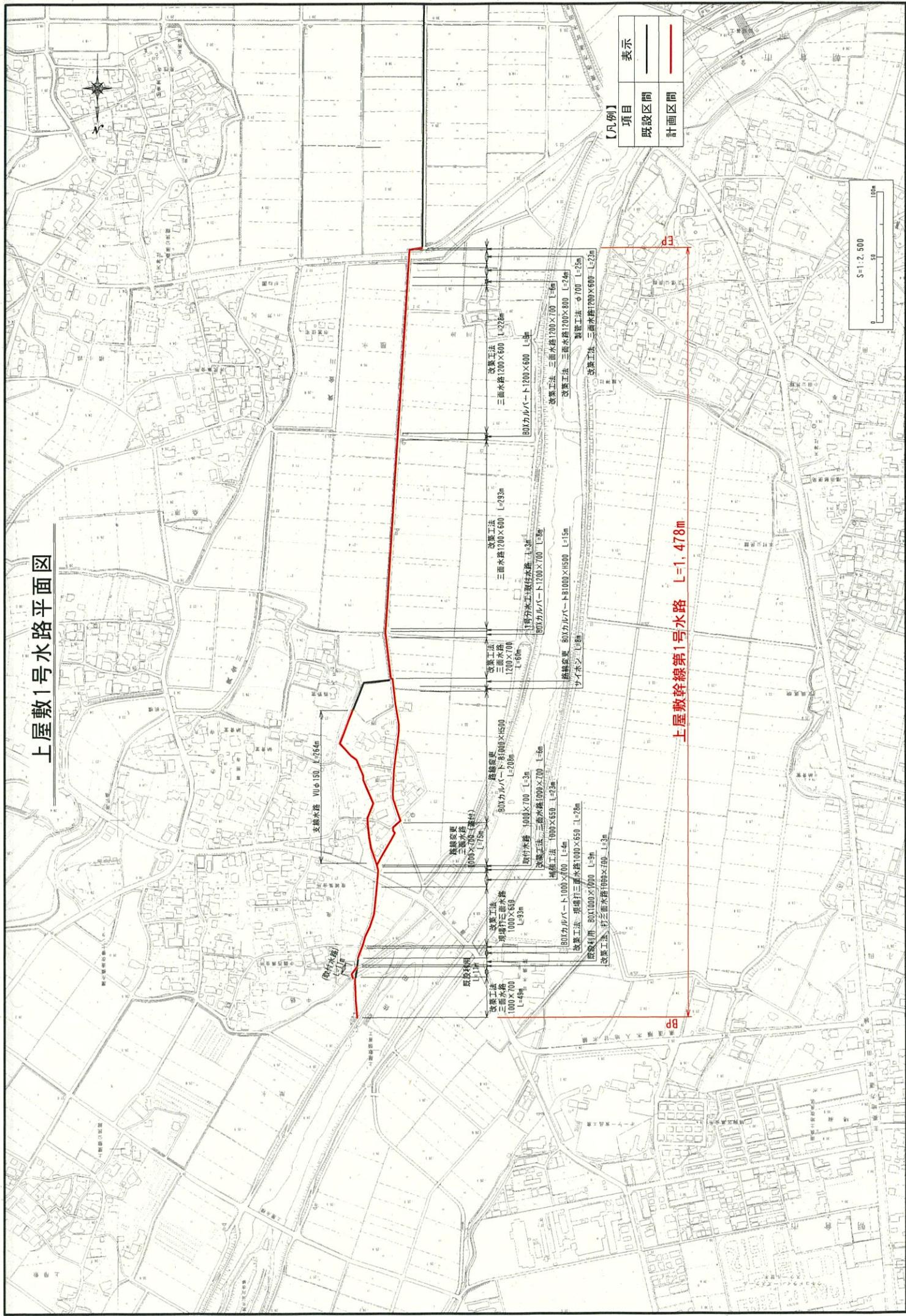
第6章 他の事業との関係

区分	事業名	事業 主体	受益面積 (ha)	実施年度	事業内容
基本事業	両筑平野用水Ⅱ期事業	水機構	4,675	H17~H29	貯水池・用水施設

第7章 計画概要図

別紙図面のとおり

上屋敷1号水路平面図



【凡例】

項目	表示
既設区間	—
計画区間	—

立石1号水路平面図